

「九州の大雨」

まんのう町立仲南小学校 4年 山下 晃季さん

7月12日、九州くま本県阿そ市で記録的大雨で、土砂崩れなどが次々におこりました。

今回の大雨は梅雨の温かい空気が九州に流れこんで来たためです。土砂崩れによる死者や行方不明者が多数でました。川がはんらんして道路が海のようにになりました。ひなんかんこくが出て、近くの小学校や公民館にひなんした人がたくさんいました。

ぼくは、このニュースを見て本当にびっくりしました。その中でも一番びっくりしたのは、ドロが天じょうの近くまでおしよせたことです。その家のおじさんも、生まれて初めての経験をしたと話していました。てい電になったり、水が出なくなった所もあり自えいたいもきゅうじょに向かっていた。

香川県では今回は、九州のような大雨はありませんでしたが、ぼくが保育所時に一カ月に三度も台風がせつ近しました。その時、ぼくの家のお花のビニールハウスがぼう風でとなりの家まで飛んでしまいました。そして、同じ地区の山ぎわの家のうらで、土砂崩れが発生しました。それで、自治会の役員さんたちは、きゅうじょに向かいました。牛をかっていたので、土砂流で動けなくなった牛を見て車の中で泣いていたそうです。おばあちゃんはふ人会でひなんしてきた人のごはんを作りに行っていました。九州と同じような土砂流が発生しました。ぼくは小さくて覚えていなかったのですが、お母さんから話を聞いて本当にびっくりしました。

ぼくの家付近には、山がたくさんあります。だからいつ大雨で土砂流が発生するか分かりません。もし発生した時には、外の安全をたしかめてから公民館や小学校へひなんをしたいです。近所に一人ぐらしのおばあちゃんがいるのでいっしょにひなんをしたいです。近所の人たちと協力することが大切だと思います。ぼくのおとうさんは消防だんに入っているのです。土砂流があったらすぐにきゅうじょに行ってほしいです。ぼくも大人になったら、消防団に入ってみんなの役にたきたいです。

ぼくの地いきでは、6月に用水のそうじをしています。用水をきれいにしないと大雨がふったときに水があふれてしまうそうです。だからぼくも用水にゴミをすてないようにします。みんなで協力して小さな事でもやっていきたいです。